

2015年度 活動報告(2015.4~2016.3)

あの大震災から5年…被災地では、新たなコミュニティでそれぞれが未来に向けて、それぞれのステップを歩き始めています。岩手では、被災者の殆どが仮設を出て、新しい生活が動き出していますが、新たなアイデンティティ獲得には個人差もあり、当然に難しさもあるようです。福島では、以前、原発問題は変わらず、メンタルヘルス支援チームは、子供達向けに“放射能教育”を展開し、少しずつ浸透してきているようです。

APRICOTの昨年3月末から今年3月末までの主な活動報告と、この一年間皆様から頂戴しました寄付金の収支報告をさせていただきます。

昨年度は、APRICOTのイベント収入(22,000円)に加え、皆様からご協力いただきました寄付金の合計は、579,632円(利息含む)でした。皆様のご支援に心より感謝致します。

昨年度は、スタッフが体調を崩したり、中々思うような募金収集活動が出来ず、申し訳なく思っております。今年度は、又、思いも新たに、新しい企画等を工夫していく予定です。

昨年度いただきました寄付金は、一年前のベルギー大使館でのイベント時の収益金と合わせ、例年の様に、既に下記の通り、APRICOTの趣旨に即して被災地でのメンタルヘルス支援に関わる団体に送らせて頂きました。

APRICOTは、今後も引き続き、又、皆様と共に被災地の子供達の為に、支援活動を続け、出来る限り、現地の様子もお伝えして行くつもりです。今年度も引き続き、ご支援及びご協力を宜しくお願い致します。

4/29 サンモール・インターナショナル「フードフェア Food Fair 2015」

APRICOTのフェイスペインティングチームは、被災地の子供達の為の支援を募り、APRICOTスタッフの一人の出身校と云う繋がり、二度目となる横浜のサンモール・インターナショナルスクールのイベント「フードフェア2015 Food Fair」に参加。APRICOTのセラピー犬? Pookaも同行し、限られたスタッフながら、何とか子供達のリクエストの応え、多くの参加者に喜んでいただき、22,000円の寄付を頂戴致しました。

8/17~23 “バラ作戦”夏の支援に参加

岩手県田野畑村のメンタルヘルス支援チーム“バラ作戦”に今年も、APRICOTのメンバーが参加。保健センターの協力の下、村で相談に関わる皆さんへの「自殺予防」の講演会を行ったり、又、羅賀、島越等、二か所の集会所を使って、村民へのヘルスチェックを施行。被災者のみならず、全村民を対象に、ストレスチェックを中心に、健康体操なども交え、又子供達には皿回しなどの遊びも提供。そんなイベントを通して、今の皆さんの暮らしぶりの実状を聞かせて貰いました。

2/24~25伊達市 親子遊び・親ミーティングに参加

アメリカでのハリケーン・カトリーナを体験されたトラウマワークをご専門にされているダグラス・ウォーカー先生が今年始めに来日。福島のメンタルヘルス支援活動の実状もご覧になりたいとの事で、APRICOTチームが通訳を兼ね、お手伝いに出かけました。丁度、共通一次試験日と重なり、受験者で溢れる福島市で24日にウォーカー先生とお会いし、25日朝は「ハートフルハート未来を育む会」の成井先生のお迎えで、伊達市の保健師さん達と共に「親子遊び」に参加。午後からは、伊達市元気アップ体操支援隊と一緒に、霊山の上小国本組の集会所で「お茶のみにこらんしょ」に参加。まだまだ原発問題に揺れの中で、保障問題で地域が分断され辛い思いを経験した人、政府への不信を訴える人、原発問題で家

族がバラバラになった人等、それぞれの思いが語られる中、直ぐお隣まで住居が流された中、幸いにも家が無事だったウォーカー先生も、やはり長く変な後ろめたさもあって辛かった話も紹介され、国は違っても人としての気持ちは同じと、改めてそれぞれの気持ちを共有し、とても意義深い時間を一緒に体験させて貰ってきました。

2015年度内に、既に寄付支援を送付した被災地支援機関

NPO ハートフルハート未来を育む会: 50万円

震災発生以来、福島の子どもたちの為に奔走している元福島臨床心理士会会長の成井香苗先生が、実際の子どもたちへの支援活動を目的に創られた NPO です。地域の保健師さんや、関東近県の臨床心理等協力スタッフがフル活動で「親子遊びと親ミーティング」の支援に加え、「お茶のみにこらんしょ」等の継続支援活動、又、自治体の要請に基づく心のケアチームの派遣や、子ども一人ひとりの体の健康(発育や運動機能を含むフィジカル面)と心の健康(メンタル面)をトータルにケアできる健康増進プログラムを実施する「健康増進・元気アップ事業」を行っています。でも当然ながら、スタッフも本当に疲労困憊。年に1、2回程度ですが、APRICOT メンバーもお手伝いに伺っていますが、残念ながら、依然として、放射性物質の処理問題も目処が立っておらず、福島は、今後ともまだまだ大きな支援を必要としています。

チーム”バラ作戦”: 50万円

あの大地震の夏、保健師さんに付いて、一軒一軒にバラを配って歩いて以来、明星大学の黒岩誠先生率いる明星大学学生相談室有志が中心となって、岩手の田野畑村を支援しているグループです。東北は元々自殺率の高さも問題になっていたこともあり、今は村の保健センターと連携し、毎夏、自殺予防やメンタルヘルス講演会等と合わせて、相談員さん達のサポートに力を入れています。今は全村へのバラ配布は止め、相談に来て下さった皆さんに気持ちだけのバラをお配りする程度ですが、仮設を出た皆さんの中には、新たなコミュニティでバラを根付かせてくれたり、嬉しいニュースを聞かせて貰える事もあるようです。メンタルヘルス支援については、中々浸透しにくい中で、保健師さんや村民の相談窓口となっている民生委員さん達のサポートを大きな指標として年に一度は、“健康祭り“に足を運んでいるところです。

虹色のバラの会: 10万円

上記のチーム“バラ作戦”に同行したのを機に、学生中心で自分達独自のボランティアサークルで、田野畑では特に子供達のお相手を中心に、お年寄りグループにも、息子や娘、或いは孫が会いに来た感じで受け止められ、好感を呼んでいるようです。どんな事したら、子供達が喜んでくれるのか、或いはどんな話題なら、年配の人にも楽しんでもらえるのか、企画段階からアレコレ頭を捻っているようですが、今年は“皿回し”に挑戦！先ずは人に見せられるようにと、随分練習を積んで出向いたようで、その甲斐あって、年齢を問わず、参加者全員の目を楽しませてました！

以上 2015年 APRICOT の活動報告ですが、何か質問等ありましたらお気軽にお問い合わせ下さい。又、2016年の活動も開始しております。随時ご報告させて貰いますので、今しばらくお待ち下さい。